

I 調査の概要

1 実施要領

(1) 調査の目的

神奈川県における成人の歯科保健の実態を把握し、歯科保健対策の推進に必要な基礎資料を得ると共に、神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進計画等各種県計画の評価としての活用を図り、県民の健康増進の推進に役立てる。

(2) 調査実施機関

神奈川県健康医療局保健医療部健康増進課

ただし、調査の実施、審査、集計、分析、報告書の作成までを外部委託し、実施する。

(3) 調査対象

神奈川県歯科医師会会員の歯科診療所に来院した調査日に20歳以上の県内在住の初診患者（再初診患者を含む）または当該歯科診療所が訪問診療を行った患者。

ただし、調査にあたっては、対象者の県内地域バランスを考慮して実施するものとする。

(4) 調査数

約6,000人（通院：約5,000人、訪問：約1,000人）

(5) 調査期日と調査実施期間

調査期日：令和2年6月15日から令和3年3月26日のうち1日

調査期間：令和2年6月15日から令和3年3月26日まで

(6) 調査内容

ア 属性：性別、年齢、住所地域

イ 口腔内状況：現在歯数、う蝕、歯周疾患の状況等（歯科医師による診察）

ウ 歯科保健行動：フッ化物配合歯磨剤使用状況、歯みがき、歯科受診状況等

エ 生活習慣：運動、喫煙等

オ 歯科保健に関する知識：喫煙及び全身と歯周疾患との関係、歯科関連用語の確認等

(7) 政策への反映

「神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進計画」の最終評価等に活用する。また、保健福祉事務所及びセンター、保健所設置市、市町村等における歯科保健対策事業の基礎データとして提供する。

(8) 公表の時期及び方法

調査終了後に報告書を作成し、県ホームページで公表を行う。公表時期は令和3年8月を予定。

(9) その他

調査を実施するにあたっての細則は、必要に応じて別に定めるものとする。

(10) 附則

この要領は、令和2年8月1日から令和3年3月31日までの施行とする。

2 調査の方法

(1) 調査主体

公益社団法人神奈川県歯科医師会（神奈川県健康医療局保健医療部健康増進課より委託）

(2) 調査方法

公益社団法人神奈川県歯科医師会から地域歯科医師会に会員数に応じた数の調査票を送付し、地域歯科医師会から神奈川県歯科医師会会員の歯科診療所に調査票を配布。

会員の歯科診療所にて、来院した 20 歳以上の県内在住の初診患者（再初診患者を含む）、または当該歯科診療所が訪問診療を行った患者に口腔内診察、歯科保健行動等に関する問診の実施後、その結果を調査票に記入して地域歯科医師会に提出。

地域歯科医師会は調査票を神奈川県歯科医師会に提出。

3 診査基準・記入方法

(1) 歯の状況

ア 現在歯

現在歯とは、歯の全部、または一部が口腔に現れているものをいい、過剰歯は含まない。

ゆ合歯は、該当歯欄に○印を記入し、1 歯とする。

また、先天欠如のため、乳歯が残存している場合は、これを現在歯として該当歯欄に乳歯記号（A～E）を記入する。

(ア) 健全歯（ / ・ ━━ ）

健全歯とは、う蝕あるいは歯科的処置の認められないものをいい、斜線を記入する。

また、咬耗、磨耗、着色、外傷、形成不全、形態異常などの歯であっても、う蝕のないものは健全歯とする。

注－1 健全歯が続いている場合は、連続横線でも可。

注－2 予防填塞（フィッシャー・シーラント）のされている歯は健全歯とする。

(イ) 未処置歯（C1～C4）

C1～C4 の 4 度分類法で診査し、C0 は記入しない。

注－1 同一歯の 2 ヲ所以上にもう蝕のある場合には、病状の進んでいる方を記入する。

注－2 フッ化ジアンミン銀が塗布されている歯は C1 とする。

注－3 2 次う蝕は未処置歯とし、C1～C4 を記入する。

注－4 治療が完了していない歯は未処置歯とし、C1～C4 を記入する。


(ウ) 処置歯

処置歯とは、歯の一部また全部に永久充填（アンレー等も含む）、金属冠、継続歯（ジャケット冠も含む）を施されているものをいい、○印を記入する。

イ 喪失歯（△）

抜去または脱落により喪失した永久歯をいい、△印を記入する。ただし、智歯は含まない。

注－1 インプラントのある部分は喪失歯とする。

注－2 早期に抜去した歯や明らかに矯正のために抜去した歯で、歯間空隙のない場合は、 を記入し、喪失歯とする。

注－3 先天欠如の場合は先欠と記入する。

ウ 欠損補綴

欠損部に装着されている補綴物については、部位と種類を記入する。

種類 (FD…総義歯、PD…局部義歯、Br…ブリッジ)

注-1 インプラントの場合は、Im の記号を記入する。

注-2 ヘミセクションの場合は、その実態を該当歯欄に記入する。

注-3 オーバーデンチャーの場合は、その実態を該当歯欄に記入する。

(2) 歯周組織の状況

WHO プローブを用い、CPI (community periodontal index、地域歯周疾患指数) を以下に記載する特定歯で測定する。

ア 対象歯

(ア) 下記の歯を代表歯とする。

17	16	11	26	27
47	46	31	36	37

(イ) 前歯部の対象歯 (11 あるいは 31) が欠損している場合は、反対側同名歯 (21 あるいは 41) を検査対象とする。両側とも欠損している場合、あるいは臼歯部で対象歯が欠損している場合には、検査対象外として「×」を該当する代表歯の欄に記入する。

イ 検査方法

(ア) 上顎は頬唇側面、下顎は舌側面について以下の基準で検査し、記入欄に最高コード値を記入する。

(イ) 記入欄の代表歯のうち、「0」、「1」、「2」のうち一番大きいコード値を「歯周組織の状況 (最大コード値)」欄に転記し、個人の代表値 (最大コード) とする。

例) ・代表歯欄に「×」、「9」、「0」、「1」、「2」の記載がある場合、歯周組織の状況 (最大コード値) 欄には「0」、「1」、「2」のうち一番大きいコードを記載する。

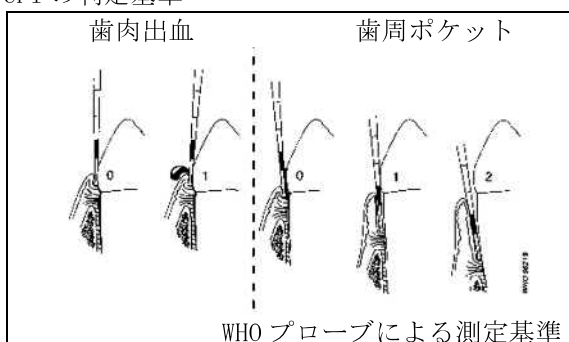
・代表歯欄に「9」のみ記載の場合、歯周組織の状況 (最大コード値) 欄は「9」と記載する。

・代表歯欄に「×」のみ記載の場合、歯周組織の状況 (最大コード値) 欄は「×」と記載する。

・代表歯欄に「9」と「×」のみの場合、歯周組織の状況 (最大コード値) 欄は「9」と記載する。

(ウ) プロービングは、WHO プローブ先端の球を歯の表面に沿って滑らせる程度の軽い力 (20g) で操作し、遠心の接触点直下から、やさしく上下に動かしながら近心接触点直下まで移動させる。

CPI の判定基準



CPI の判定基準

	コード	所見	判定基準
歯肉出血	0	健全	以下の所見が認められない
	1	出血あり	プロービング後 10～30 秒以内に出血が認められる
	9	除外歯	プロービングが出来ない歯（根の露出が根尖に及ぶ等）
	X	該当する歯なし	
歯周ポケット	0	健全	以下の所見が全て認められない
	1	4～5mm に達するポケット	プローブの黒い部分に歯肉縁が位置する
	2	6mm を超えるポケット	プローブの黒い部分が見えなくなる
	9	除外歯	プロービングが出来ない歯（根の露出が根尖に及ぶ等）
	X	該当する歯なし	

（３）口腔清掃状態

CPI の検査対象歯（臼歯部は舌側、その他部位は唇側）のプラーク付着量を測定する。

（４）その他の所見

ア 歯石の付着について「なし」、「あり」いずれかに○を記入し、下段の歯石の付着欄にも記入する。

イ 歯の形態、歯数、歯列、咬合の異常や粘膜の異常などがあれば記入する。

4 調査の分析

（１）分析機関

調査結果の分析及び報告書の作成は、神奈川県健康医療局保健医療部健康増進課から、歯科の知識を十分に有する東京歯科大学社会歯科学講座 平田創一郎教授に委託して行った。委託先では「県民歯科保健実態調査（成人）実施要領」、調査結果の分析及び結果報告書作成仕様書にしたがって厳格な責任体制のもとに実施された。

（２）分析方法

調査票を集計し入力されたデータについて分析を行った。分析に際しては、記載された市町村名が県外のもの分析対象から除いた。質問の一部が未記入のものは、分析対象に含めた。分析は Microsoft Excel 及び株式会社社会情報サービス エクセル統計を用いて行った。

なお、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。

5 個人情報の安全管理

個人情報を取り扱う際は、関係法令等の規定に従い、その取扱いにより個人の権利利益を侵すことないように厳重に管理された。また、本統計調査の計画などについては、神奈川県統計報告調整審議会の上の了承（令和 2 年 5 月 1 日、統計第 1168 号）のもとに実施された。

6 調査票

県民歯科保健実態調査(成人検診票)【属性・口腔内状況】

属性

調査歯科医師	氏名		地域歯科医師会名		調査月日 (初診日)	/
患者	市町村名		性別	男・女	年齢	歳
	要介護度	自立・要支援1・要支援2・要介護1・要介護2・要介護3・要介護4・要介護5				

A 歯の状況

上顎																	上顎
右	8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8	左
下顎																	下顎

〔記入例〕

- 健全歯
 - 楔状欠損
 - 未処置歯
 - 処置歯
 - 喪失歯
 - 空隙のない喪失歯
 - 先天性欠如
 - 過剰歯
 - ゆ合歯
- ※健全歯以外は、連続する場合でも横線(——)は使用しない。
- ／または— |
- WSD
- C₁~C₄
-
- △
- △
- 先欠
- 過
- 1 1
- 1 2
- ブリッジによる欠損補綴
- 義歯による欠損補綴
- F.D又は
- インプラントによる欠損補綴
- 5 6 7
- Q△○
- Br
- 5 6 7
- △△△
- P.D
- 6
- 5 6 7
- △
- △△
- Im
- Im
- Br

※C0及びシーラントは健全歯とする。サホライドはC₁とする

B 歯肉の状況

	17	16	11	26	27	
BOP						
PD						
BOP						
PD						
	47	46		31	36	37

B 歯肉の状況：CPIの診査基準

BOP：歯肉出血		PD：歯周ポケット	
コード	診査基準	コード	診査基準
0	健全	0	健全
1	出血あり	1	浅いポケット 4mm以上6mm未満
		2	深いポケット 6mm以上
9	除外歯(根の露出が根尖に及ぶ歯)	9	除外歯(根の露出が根尖に及ぶ歯)
x	該当する歯なし	x	該当する歯なし

C 口腔清掃状態

	17	16	11	26	27	
	47	46		31	36	37

C 口腔清掃状態

口腔清掃状態	
コード	診査基準
0	プラークや他の付着物がない
1	プラークが歯面の1/3以下
2	プラークが歯面の1/3~2/3
3	プラークが歯面2/3以上

D その他の所見

歯石の付着 なし ・ あり

※調査歯科医師は、上記ABCDの診査結果を下記に記入してください

現在歯数		未処置歯				処置歯	WSD	処置状況	喪失歯	補綴完了状況
健全歯		C ₁	C ₂	C ₃	C ₄					
本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本

①処置完了者
②処置・未処置のある者
③未処置者
④う蝕なし者

①なし
②あり
[本]

歯肉の状況(最大コード値)	
BOP	PD

口腔清掃状態			
0	1	2	3
本	本	本	本

歯石の付着	
① なし	② あり

けんみん し か ほ けん じつ たい ち ょ う さ せい じん し か ほ けん こ う だ う せい かつ し ゅ う かん し か ほ けん かん ち し き
県民歯科保健実態調査(成人)【歯科保健行動・生活習慣・歯科保健に関する知識】

※回答の自由、回答撤回の自由

今回のお願いに対して回答をするかどうかはあなたの自由であり、あなたの意思に基づいて行ってください。あなたが回答されなかった場合、調査には使用しませんが、その場合においても、あなたの診療にはまったく影響はありません。又、いったん回答した後も、回答を撤回することも可能です。

● あなたのことについて伺います。

回答は、_____の部分にご記入、又はあてはまる項目の番号に○をつけてください。

問1 お住まいの市町村を教えてください。

_____市・町・村

問2 性別を教えてください。

(1) 男 (2) 女

問3 年齢を教えてください。

_____歳

問4 現在の健康状態はいかがですか。

(1) よい (2) まあよい (3) ふつう

(4) あまりよくない (5) よくない (6) わからない、怒れた



問4-1 (あまりよくない、よくないと答えた方) この1年間に歯科以外で治療を受けた病気すべてに○をつけてください。

- (1) 糖尿病 (2) 心臓病 (3) 肺炎
(4) 脳血管障害(脳卒中等) (5) その他()
(6) 治療は受けていない

問5 健康のために、からだを動かすなどの運動をしていますか。

(1) いつもしている (2) ときどきしている (3) ほとんどしない

問6 たばこを習慣的に吸っていますか、又は吸っていたことがありますか。

(1) はい (2) いいえ

問6-1 (はいと答えた方) (1) 現在吸っている (2) 以前吸っていた
1日平均()本×()年間

問7 自分の歯や入れ歯で、左右の奥歯を噛みしめることができますか。

(1) 両方できる (2) 片方だけできる (3) どちらもできない

問8 噛んで食べる時の状態は次のどれにあてはまりますか。

(1) 何でも噛んで食べることができる (2) 一部噛めない食べ物がある
(3) 噛めない食べ物が多い (4) 噛んで食べることはできない

問9 食べ物や飲み物が飲み込みにくく感じたり、食事中にむせたりすることがありますか。

(1) 頻繁にある (2) ときどきある (3) めったにない (4) まったくない

問 10 口を大きく開けたり閉じたりする時に、あごの関節に痛みを感じたり、開けにくい、音がすることがありますか。

- (1) ある (2) ときどきある (3) ない

問 10-1 (ある、ときどきあると答えた方) あてはまるものすべてに○をつけてください。

- (1) 痛みがある (2) 開けにくい (3) 音がする

問 11 顎関節症の治療を受けたことがありますか。

- (1) ある (2) ない (3) わからない(不明)、意味がわからない

問 11-1 (あると答えた方) どのような治療を受けましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- (1) スプリント・プレート等の装着 (2) リハビリテーション (3) それ以外

問 12 本日、受診したきっかけはどのような理由ですか。(1つ選択)

- (1) 歯や歯ぐきが痛くて我慢ができなかったから
(2) 家族に受診するように勧められたから
(3) 口の中にむし歯など気になる場所が見つかったから
(4) 歯科検診を受けてみようと思ったから
(5) 定期的に検診や歯のクリーニングを受けているから
(6) その他 ()

問 13 この1年間に、歯科医院、職場、市町村等で受けたことのある項目のすべてに○をつけてください。

- (1) 歯科検診 (2) 集団歯科健診 (3) 口腔がん検診 (4) 歯みがき指導
(5) フッ化物(フッ素)塗布 (6) 歯石除去 (7) むし歯の治療
(8) 歯周病の治療 (9) 抜歯等外科処置 (10) 歯科矯正

問 14 普段、歯科検診や歯科治療を受けることにためらいがありますか。

- (1) とてもある (2) ある (3) あまりない (4) まったくない

問 14-1 (とてもある、あると答えた方) その理由すべてに○をつけてください。

- (1) 痛みなどの恐怖 (2) 経済的な負担 (3) 時間的な負担
(4) その他 ()

問 15 歯みがきの状況を教えてください。

- (1) 毎日みがく (2) ときどきみがく (3) みがかない

問 15-1 (毎日みがくと答えた方) 1日何回みがきますか。

- (1) 1回 (2) 2回 (3) 3回以上

問 16 歯間ブラシやデンタルフロス(糸付きようじ)等を使っていますか。

- (1) ほぼ毎日使う (2) ときどき使う (3) 使わない

問 17 歯や歯ぐきの健康について普段から意識（注意）していることすべてに○をつけてください。

- (1) 歯科検診や歯科健康診査を受けるようにしている
- (2) 歯石をとってもらおうようにしている
- (3) かかりつけ歯科医、かかりつけの歯科医院を決めている
- (4) 食事の後、歯をみがいたり、口をすすいだりしている
- (5) 1本ずついねいに、歯の根もとまでみがくようにしている
- (6) フッ化物入りの歯みがき剤を使用している
- (7) 甘いものを、食べたり飲んだりしないようにしている
- (8) バランスのとれた食事をこころがけている
- (9) よく噛んで食べるようにしている
- (10) 歯や歯ぐきの健康を特に意識して喫煙をしないようにしている
- (11) 特に意識（注意）していない

問 18 歯周病と関係があると思うものすべてに○をつけてください。

- (1) 糖尿病
- (2) 心臓病
- (3) 未熟児（低出生体重児）など妊娠への影響
- (4) 肺炎
- (5) 脳血管障害（脳卒中等）

問 19 次の言葉をご存知ですか。
 (ア)～(ス)の言葉について、「(1) 知らない (2) 言葉は知っている (3) 意味もわかる」から、ひとつ選んで○をつけてください。

言葉	(1) 知らない	(2) 言葉は知っている	(3) 意味もわかる
(ア) 歯垢	(1)	(2)	(3)
(イ) 歯石	(1)	(2)	(3)
(ウ) 歯肉炎	(1)	(2)	(3)
(エ) 歯周ポケット	(1)	(2)	(3)
(オ) 初期むし歯	(1)	(2)	(3)
(カ) 再石灰化	(1)	(2)	(3)
(キ) キシリトール	(1)	(2)	(3)
(ク) フッ化物洗口	(1)	(2)	(3)
(ケ) 8020運動	(1)	(2)	(3)
(コ) 健康日本21	(1)	(2)	(3)
(サ) 未病	(1)	(2)	(3)
(シ) 健口体操	(1)	(2)	(3)
(ス) オーラルフレイル	(1)	(2)	(3)

問 20 オーラルフレイルとは、滑舌の低下、食べこぼし、わずかのむせ、噛めない食品の増加など“ささいな口腔機能の低下”のことをいいます。
 「オーラルフレイルのスクリーニング問診票」は、オーラルフレイルのリスク判定をいつでも、どこでも、簡単にできる問診票です。
 以下の項目に当てはまるものがあるかどうか、チェックしてみてください。
 点数の合計が3点以上となった方は、専門的な対応が必要です。(かかりつけの) 歯科医院にご相談ください。

オーラルフレイルのスクリーニング問診票

質問項目	はい	いいえ
(1) 半年前と比べて、堅いものが食べにくくなった	2	0
(2) お茶や汁物でむせることがある	2	0
(3) 義歯を使用している	2	0
(4) 口の乾きが気になる	1	0
(5) 半年前と比べて、外出が少なくなった	1	0
(6) さきいか・たくあんくらいの堅さの食べ物を噛むことができる	0	1
(7) 1日に2回以上、歯を磨く	0	1
(8) 1年に1回以上、歯科医院を受診している	0	1
合計の点数		



合計の点数が	オーラルフレイルの危険性
0～2点	低い
3点	あり
4点以上	高い

本調査や歯科に関するご意見などがありましたら、ご自由にご記入ください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

7 神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進計画の目標値・歯科口腔保健の推進に関する基本的事項の目標値の一覧表

(1) 成人期

	目標	策定時 (H23)	前回値 (H28)	現状値 (R02)	目標値 (R04)	策定時・前回値・ 現状値出典
1	20歳代における歯肉に異常所見のない者の割合の増加	41.2%	46.0%	43.8%	50%	平成23年度・平成28年度・令和2年度県民歯科保健実態調査
2	40歳代における進行した歯周疾患を有する者の割合の減少	24.7%	55.6%*	54.5%	15%	
3	40歳(35歳～44歳)の未処置歯を有する者の割合の減少	39.8%	32.5%	29.8%	10%	
4	40歳(35歳～44歳)で喪失歯のない者の割合の増加	46.2%	60.8%	60.8%	65%	
5	過去1年間に歯科検診を受診した者の割合の増加	41.1%	49.2%	54.1%	70%	

*平成28年度より、改定CPIを用いて歯周組織の診査を行っているため、23年度結果との直接的な比較はできない。

(2) 高齢期

	目標	策定時 (H23)	前回値 (H28)	現状値 (R02)	目標値 (R04)	策定時・前回値・ 現状値出典
1	60歳(55歳～64歳)の未処置歯を有する者の割合の減少	31.1%	31.8%	25.9%	10%	平成23年度・平成28年度・令和2年度県民歯科保健実態調査
2	60歳代における進行した歯周疾患を有する者の割合の減少	74.3%	69.3%*	71.2%	65%	
3	60歳代における咀嚼満足者の割合の増加**	70.3%	73.8%	74.0%	80%	
4	60歳(55歳～64歳)で24本以上の自分の歯を有する者の割合の増加	75.4%	74.2%	78.4%	85%	
5	80歳(75歳～84歳)で20本以上の自分の歯を有する者の割合の増加	34.6% (H22)	44.7%*** (H25～27)	62.7%*** (H29～R1)	65%	平成22年度県民健康栄養調査 平成25～27年度県民健康栄養調査 平成29～R1年度県民健康栄養調査

*平成28年度より、改定CPIを用いて歯周組織の診査を行っているため、23年度結果との直接的な比較はできない。

**咀嚼満足者とは、「なんでも噛んで食べることができる」と感じている人のこと。

***3か年分の全数データの平均値。